

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
1	学長	カミナ シゲル 片峰 茂 <平成20年10月>		医学博士		長崎大学学長 (平成20.10~29.9)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等

(多文化社会学研究科 多文化社会学専攻)

調書 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専任	教授	スズキ ツジロウ 鈴木 達治郎 <平成30年4月>		工学博士		原子力平和利用と核不拡散特講 原子力平和利用と核不拡散特定演習 核物質管理と核セキュリティ特講 核物質管理と核セキュリティ特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④ 2① 2② 2通 2通	2 1 2 1 2 4	1 1 1 1 1 1	核兵器廃絶研究 センター 教授 (平26.4)	5日
2	専任	教授	ヨシダ フミヒコ 吉田 文彦 <平成30年4月>		国際公共 政策博士		核軍縮と国際政治特講 核軍縮と国際政治特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1③ 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	核兵器廃絶研究 センター 教授 (平28.12)	5日
3	専任	教授	レン セイイチ 連 清吉 <平成30年4月>		博士 (文学)		日本儒学・中国学特講 日本儒学・中国学特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1③ 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平10.4)	5日
4	専任	教授 (学術)	ナカムラ 則弘 中村 則弘 <平成30年4月>		社会学博士		学問のエレメンツV グローバル社会と脱オリエンタリズム特講 グローバル社会と脱オリエンタリズム特定演習 海外フィールドワーク 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1④ 2① 1②~③ 2通 2通	2 2 1 2 2 4	1 1 1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平28.4)	5日
5	専任	教授	モリカワ ユウジ 森川 裕二 <平成30年4月>		学術博士		学問のエレメンツIII 国際秩序論特講 国際秩序論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1① 1③ 1④ 2通 2通	2 2 1 2 4	1 1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平25.12)	5日
6	専任	教授	ヨウ キョウアン 楊 曉安 <平成30年4月>		文学博士 (中国)		言語学基礎研究特講b 日中対照言語学特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 2① 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平18.4)	5日
7	専任	教授	オウミ シホ 近江 美保 <平成30年4月>		博士 (法学)		国際ジェンダー論特講 国際ジェンダー論特定演習 海外留学 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1③ 2①~② 2通 2通	2 1 2 2 4	1 1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平29.4)	5日
8	専任	教授	ワン ウエイ 王 維 <平成30年4月>		博士 (学術) 文学博士 (中国)		華僑・華人研究特講 華僑・華人研究特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2① 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平26.10)	5日
9	専任	教授	マサモト シノブ 正本 忍 <平成30年4月>		博士 (社会学)		ヨーロッパ社会史特講 ヨーロッパ社会史特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④ 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平29.4)	5日
10	専任	教授	ニシハラ トシアキ 西原 俊明 <平成30年4月>		博士 (言語学)		言語学基礎研究特講a 応用言語学特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1④ 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平2.10)	5日
11	専任	教授	ハヤナギ カズノリ 葉柳 和則 <平成30年4月>		博士 (文学)		学問のエレメンツII 文化表象論特講 文化表象論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1① 1② 1③ 2通 2通	2 2 1 2 4	1 1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平12.10)	5日
12	専任	教授	ノガミ タケノリ 野上 建紀 <平成30年4月>		博士 (文学)		海城交流史特講 海城交流史特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④ 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平29.4)	5日
13	専任	教授	スズキ アキヨシ 鈴木 章能 <平成30年4月>		博士 (英文学)		East-West Studies特講 East-West Studies特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	2① 2② 2通 2通	2 1 2 4	1 1 1 1	教育学部 教授 (平26.4)	5日
14	専任	教授	シロウ トシカズ 首藤 明和 <平成30年4月>		博士 (学術)		学問のエレメンツIV 現代アジア社会論特講 現代アジア社会論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1① 2① 2② 2通 2通	2 2 1 2 4	1 1 1 1 1	多文化社会学部 教授 (平26.4)	5日

教員名簿(別記様式3号(その2の1))

教 員 の 氏 名 等												
(多文化社会学研究科 多文化社会学専攻)												
調査 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 適当なり平均日数
15	専任	教授	キムラ ナオキ 木村 直樹 <平成30年4月>		博士 (文学)		学問のエッセンスⅠ 日本近世史・日蘭交流史特講 日本近世史・日蘭交流史特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1① 1② 1③	2 2 1	1 1 1	多文化社会学部 教授 (平25.4)	5日
16	専任	准教授	サイツ ムスミ 才津 祐美子 <平成30年4月>		博士 (文学)		文化遺産論特講 文化遺産論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平20.4)	5日
17	専任	准教授	ハザマ イツヒロ 波佐間 逸博 <平成30年4月>		博士 (地域研究)		地域生態論特講 地域生態論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
18	専任	准教授	サイハンジュナ 賽漢卓娜 <平成30年4月>		博士 (教育学)		多文化家族研究特講 多文化家族研究特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
19	専任	准教授	カローニ ヒノ CUTRONE PINO <平成30年4月>		Ph. D. (Applied Linguistics) (英国)		異文化語用論特講 談話分析特講 多文化社会学セミナー 研究指導	1③ 1④	2 2	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
20	専任	准教授	シライ ショウジ 白井 章詞 <平成30年4月>		修士 (経営学)		海外インターンシップ	1③～④	2	1	多文化社会学部 准教授 (平28.4)	5日
21	専任	准教授	タキザワ カツヒコ 滝澤 克彦 <平成30年4月>		博士 (文学)		学問のエッセンスⅥ 現代宗教論特講 現代宗教論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1② 1③	2 2 1	1 1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
22	専任	准教授	ミナモト マコト 南 誠 ソウ セツコウ (梁 雪江) <平成30年4月>		博士 (人間・環境学)		トランスナショナルイデオロギ論特講 トランスナショナルイデオロギ論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平28.4)	5日
23	専任	准教授	コンベル ラドミール COMPEL RADMIR <平成30年4月>		博士 (国際経済学)		現代日本政治外交論特講 現代日本政治外交論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平25.4)	5日
24	専任	准教授	グラジディアン マリア Grajdan Maria ミハエラ Mihaela <平成30年4月>		Ph. D. (Musicology) (ドイツ)		カルチュラルスタディーズ特講 カルチュラルスタディーズ特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	2① 2②	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平25.12)	5日
25	専任	准教授	ミハラ ヨシノ レイコ 見原 (吉野) 礼子 <平成30年4月>		博士 (社会学)		移民政策と家族・地域・教育特講 移民政策と家族・地域・教育特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	2① 2②	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
26	専任	准教授	スズキ ヒデアキ 鈴木 英明 <平成30年4月>		博士 (文学)		グローバル・ヒストリー特講 グローバル・ヒストリー特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
①	専任	准教授	タニガワ シンイチ 谷川 晋一 <平成30年4月>		博士 (言語学)		英語学統語論特講 日英対照言語学特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平28.4)	5日
28	専任	准教授	コマツ サトル 小松 悟 <平成30年4月>		博士 (学術)		経済開発論特講 経済開発論特定演習 多文化社会学セミナー 研究指導	1② 1③	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平26.4)	5日
29	兼任	教授	イダ トシアキ 稲田 俊明 <平成30年4月>		修士 (文学)		言語理論研究特講	2②	2	1	多文化社会学部 教授 (平24.4)	—
30	兼任	教授	オガサワラ シンジ 小笠原 真司 <平成30年4月>		修士 (教育学)		言語教育と第二言語習得特講	2①	2	1	言語教育研究 センター 教授 (平3.4)	—

教員名簿(別記様式3号(その2の1))

教 員 の 氏 名 等

(多文化社会学研究科 多文化社会学専攻)

調査 番号	専任 等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位 数	年間 開講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
②	兼任	教授	ヒロエ アキラ 廣江 顕 <平成30年4月>		修士 (文学)		英語学特講 言語学特定演習	1② 1③	2 1	1 1	言語教育研究 センター 教授 (平24.4)	—
32	兼任	教授	ヒロセ サトシ 廣瀬 訓 <平成30年4月>		行政学修士		核軍縮交渉の法と政治特講 核軍縮交渉の法と政治特定演習	1④ 2①	2 1	1 1	多文化社会学部 教授 (平24.4)	—
33	兼任	准教授	マサダ ケン 増田 研 <平成30年4月>		博士 (社会人類学)		アフリカ社会論特講 アフリカ社会論特定演習	1③ 1④	2 1	1 1	多文化社会学部 准教授 (平16.10)	—
③	兼任	助教	クマガミ マイ 隈上 麻衣 <平成30年4月>		修士 (文学)		第二言語習得研究特講	1③	2	1	言語教育研究 センター 助教 (平25.2)	—
34	兼任	講師	クシマ ヒロシ 久留島 浩 <平成30年4月>		文学博士		総合資料学※	1②～③	0.3	1	国立歴史民俗 博物館 館長 (平26.4)	—
35	兼任	講師	ニシタ マサル 西谷 大 <平成30年4月>		文学修士		総合資料学※	1②～③	0.9	1	国立歴史民俗 博物館 教授 (平24.11)	—
36	兼任	講師	コウ マコト 後藤 真 <平成30年4月>		文学博士		総合資料学※	1②～③	0.8	1	国立歴史民俗 博物館 准教授 (平27.9)	—
37	兼任	講師	ヒラノ ケンイチロウ 平野 健一郎 <平成30年4月>		学術博士		オリエンタルスタディーズⅠ※	1②～③	1	1	東洋文庫 常務理事, 普及展示部長 (平24.2)	—
38	兼任	講師	アイタニ シン 會谷 佳光 <平成30年4月>		博士 (文学)		オリエンタルスタディーズⅡ※	1②～③	1	1	東洋文庫研究部 部長代理, 主幹研究員 (平29.1)	—
39	兼任	講師	マキノ モトノリ 牧野 元紀 <平成30年5月>		博士 (学術)		オリエンタルスタディーズⅠ※ オリエンタルスタディーズⅡ※	1②～③ 1②～③	1 1	1 1	東洋文庫 普及展示部 部長代理, 主幹研究員, 同学芸課長, 文庫長付, 研究部長付 (平27.1)	—

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に就任に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	2人	7人	5人	1人	人	15人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	2人	9人	1人	人	人	人	12人	
	修 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	2人	11人	8人	5人	1人	人	27人	
	修 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。